

科目ナンバー	PSY-A-2-02		
科目名	コミュニティ心理学		
担当者	山本 耕太		
開講期	2021年度 春学期	科目区分	週間授業
履修開始年次	1	単位数	2.0
曜日/時限	集中講義	教室	
授業題目	コミュニティ心理学の理論と方法を学ぶ。		
授業の達成目標	コミュニティ心理学の定義、歴史、理論的背景、基本的発想、介入・援助の方法について学ぶことにより、臨床心理学的地域援助の実践に必要な発想と方法を習得する。		
今年度の授業内容	コミュニティ心理学は、「人」と「環境」の適合を図ることを最終課題とする実践学である。本講義では、コミュニティ心理学の定義、歴史、理論的背景、基本的発想、介入・援助の方法について概論的な解説を行い、その後各現場での実践例を紹介していく。		
自習に関する一般的な指示事項	授業時に配布するレジメ資料を通読しておくことが望ましい。		
授業スケジュール			
第1回	オリエンテーション		
第2回	コミュニティ心理学の定義～コミュニティ心理学とは：定義・理念・独自性		
第3回	コミュニティ心理学の歴史・理論的背景～誕生の歴史／理論・モデル		
第4回	コミュニティ心理学の発想と理論(1)～人と環境の適合～		
第5回	コミュニティ心理学の発想と理論(2)～予防の概念～		
第6回	コミュニティ心理学の発想と理論(3)～成長・発達モデルとサービス提供のあり方～		
第7回	コミュニティ心理学の発想と理論(4)～危機理論と危機介入～		
第8回	コミュニティ心理学の発想と理論(5)～コラボレーションとコンサルテーション～		
第9回	コミュニティ心理学の発想と理論(6)～エンパワメントとアドボカシー～		
第10回	コミュニティ心理学の実践～医療・保健領域～		
第11回	コミュニティ心理学の実践～教育領域～		
第12回	コミュニティ心理学の実践～福祉領域～		
第13回	コミュニティ心理学の実践～産業領域～		
第14回	コミュニティ心理学の実践～司法・矯正領域～		
第15回	まとめと課題レポート		
授業の運営方法	講義とグループワーク、ディスカッション、ロールプレイ等を交えて運営する。		
成績評価の方法	※次の評価基準・割合に基づき評価されます。		
評価の種類	割合(%)	評価基準、評価方法	
定期試験	0%	定期試験は実施しない。	
小論文・レポート	50	授業スケジュールの前半に提示する課題レポート、および後半に提示する課題レポートの計2つによって総合的に評価する。知識のみならず、考える力も評価対象とする。	
授業参加	50	毎回の講義内容に関する小レポート課題の提出率によって参加度を評価する。	
その他			
テキスト	レジメ資料をテキストとして用いる。		
参考文献	<ul style="list-style-type: none"> ◆よくわかるコミュニティ心理学<第三版>植村勝彦・高島克子・箕口雅博ほか(編)／ミネルヴァ書房／2017／2,700円／ISBN978-4623-08091-5 ◆コミュニティ・アプローチの実践～連携と協働とアドラー心理学／箕口雅博(編)／遠見書房／2016／3,800円／ISBN978-4-86616-009-2 ◆臨床心理地域援助特論／箕口雅博(編)／放送大学教育振興協会／2011／2,600円／ISBN78-4-595-13965-9 		
関連ページ	日本コミュニティ心理学会ホームページ http://jscp1998.jp/		
その他、履修生への注意			

事項	
実務経験のある教員による授業科目(令和2年度から該当科目に記載されます)	
実務経験の概要	
実務経験と授業科目との 関連性	